

# 蓬萊町だより

第 七 十 三 号  
平 成 二 十 年 七 月 二 十 六 日  
蓬 萊 町 会 部  
發 行 者 者 者 者 者  
編 集 者 者 者 者 者

## 平成二十年度に当たって

町会長 本城 康 至

老は生のさなかにあり、という誰かの台詞を借りて町会長をお受けして、二期目の終りの年度を迎えることになりました。部長会・役員会諸氏の内意をうけ、来期もお役を務めさせていただく心積りでおります。

時の流れる早さは変らないはずですが、加齢と共に何か急に早くなってくるように感じるの、誰しも同じなのでしょう。

ところで、近頃は温暖化にかかわる話が尽きません。問題は、地球自然の変動の上にヒトの社会的活動による部分が、どの位・どのように影響しているかの評価だと思います。日本では、西岡秀雄さんという方が、気候七〇〇年周期説(寒暖の歴史)を昭和24年に本にされています。大意は、最近千年の間では新田義貞の頃と江戸末期に寒期の谷があり、以降昇温期に入り西暦22・23世紀頃第五回目の最暖期になるとの予想です。近代気象学がこれをどう評価しているか知りませんが、私

はそのような過程に現在の気候があると思っ  
ています。夫々の周期の中味は決して同じで  
はないでしょう。それは地球自然が不可逆的  
過程で変化しているのですから当然です。

気候はまた海と大気の熱交換の産物でもあ  
ります。近頃北極海の氷が急速に溶けている  
との話題がありますのもう一つ。北極海の  
氷は、北太平洋へはベーリング海峡が狭く狭  
いのでほとんど影響しませんが、北大西洋と  
は直につながっています。地球の海水の動き  
の一つの特徴は、この北大西洋の北米大陸北  
部沖にその源があることです。つまり、北極  
海の冷い塩分の低い氷は、北米大陸からの乾  
燥した大陸性季節風で水分を奪われ、塩分が  
急速に増し比重が重くなり、北大西洋の底層  
水となります。そして、南大西洋から南極海  
の低層水となり、南太平洋から北太平洋へ、  
さらに北太平洋北部の海水と混合し、海の  
上層を太平洋から印度洋そして大西洋へと  
どり、一つの大循環をしているとの話です。

時の流れはこの間二千年とか、キリストさん  
が生まれた時北大西洋北部で沈みはじめた海  
水は、やっと先頃源流域にもどったという次  
第。ちよっと講談調になりました。

片方ヒトの世界では、教育・政治・経済・  
軍事(外交)が国の営為の四本柱で、夫々歴  
史的背景の解釈や論議が、事ある毎にニュー  
スを賑わしています。なかでも、石油問題は  
食糧問題がらみで、社会的恐慌の到来など杞  
憂に終わればよいのですが。このことは私共

町方にはどうにもならないことです。

しかし、教育に日をもどすと、町方が主役  
とならなければならぬ事態が「文の京」で  
ここ三年来進んでいます。これは、公立校の  
設置者が区民であるという民主社会の原則を  
蔑ろにした、文京区教育委員会、ことにその  
事務局である区教育局上層部の見識の欠落  
に起因するものでした。

多くの町会の方々は既にごぞんじのように、  
区教育委員会は六月三日定例会で、「文京区  
立小・中学校将来ビジョン(素案)の学校配  
置計画(年次計画)については第五中学・第  
七中学の統合を除き、廃案とする」ことを可  
決しました。ただし前文の将来ビジョンが廃  
案となつたわけではありません。

平成十七年十一月二十二日町会役員会決定  
として、教育長に駒本小学校存続の要望書を  
提出以来今日までの皆様のご協力に改めて感  
謝申し上げます。今後、平成十八年八月の  
駒本小学校校域六町会長の「小学校における  
指定校変更の現状は、町内児童の交流をせば  
め、町会運営を阻害している」との見解のも  
と町会長責任事項として対応して参ります。  
終わりに、この間、冷静に駒本P・T・Aを

まとめ、地域にも連絡をとられた、定泉寺副  
住職の武智さん・一音寺副住職の丸山さん、  
そして「パバの極意」(NHK出版)の著者  
でもある安藤さんに感謝申し上げますと共に、  
いささかも動じることなく教育に専念された  
泉校長先生に心から敬意を表する次第です。

## 「餅つき大会」への御礼

駒本小学校PTA副会長

水木優香

私は普段から、子どもたちが家庭と学校・塾等を往復するばかりで、地域がただの通り道となってしまうがちであることを大変危惧しております。不審者の情報や、同じマンションの住人による殺人事件報道に接していると、我が子を守るために極力外出をさげたくなる親の気持ちも理解できますが、果たしてそれが本当に子どもの幸せにつながっているのでしょうか。

麗らか陽射しの中、蓬萊町会の餅つき大会のお手伝いに、駒本小学校PTAの役員として初めて参加させていただきました。

私自身の住まいは曙町会なのですが、蓬萊町会の皆様に暖かく迎え入れていただき、楽しい時間を過ごすことが出来ました。また同時に、子どもたちを暖かく見守ってくださる地域の皆様のまなざしがあることを、強く実



感いたしました。子どものコミュニケーション能力や考える力、他人を思いやる心を育てるためには、たくさんの人々との係わり合いがかかせません。駒本小学校PTAでは、区立小・中学校の統廃合問題をきっかけにして、町会活動に参加することの意義に気付き始めた保護者が増えて参りました。義務感から町会活動に参加するのではなく、達成感や満足感を得ながら、たくさんの方々が楽しく町会と関わって欲しいと望んでおります。

餅つき大会の開催によって、子どもたちが「近所のおじさんやおばさん」に、気軽に話しかけられる環境を提供していただきました。ことを深く感謝申し上げます。

## 根津神社 祭礼を迎えて

根津神社祭礼蓬萊町会

祭礼実行委員長 大畑清心

梅雨明けも間近になり夏の気配を、感じます。本年も根津神社祭礼が、九月二十日、二十一日に行われます。平成18年度には、根津神社御遷座三百年大祭が盛大に行われました。本社神輿三基が揃って奉曳者により神社より次々と町会に渡御されていく様は、江戸絵巻が再現された様でした。当町会では過去に一時、御輿の渡御が行われていない時がありました。私の記憶では、昭和四十四年頃、久しぶりに、近所の若者が集まり、渡御されたことを思い出しました。その祭り以後若者が集まり町会に声をかけ、青年部が誕生しました。それ以来一年置きに渡御が行われていますが、

いつも話題に載るのが担ぎ手の問題でした。近くにある御輿の担ぎ手の会に随分助けをいただいた時もありました。お手伝いの方々が少なくなり、人手不足で運営面で支障をきたすこともありました。また、台風で渡御が中止になったこともありました。最近で一番大きな転換はお神酒所とお仮屋の設置場所です。戦前からずっと長い間、南部と北部にお神酒所とお仮屋を交互に設置していましたが、平成十六年から向丘高校前の長元寺 常岡様のご好意で中部一箇所にまとめることができました。

蓬萊町会のお祭りの伝統を続けていくためには、一人でも多くの方々にお祭りに参加して頂くことが必要です。今年のお祭りでは、皆様の参加、特に若い方々の参加を心よりお待ちしております。

最後になりましたが、根津神社総代の池田暉様のご尽力により、蓬萊町会お神酒所前が神幸列のご巡路になりましたことを申し添えます。

## 蓬萊句壇

池田 南北  
小野 向雪  
岡田 栄子  
福山 七重  
彦坂つぐを  
津久井うさぎ  
井上 静雄  
武川としを  
青木 市寿

はればれと小便小僧丸はだか  
逃げ水を追う瞳亡き子を追う心  
説明は耳に入らず滝見入る  
朝焼けの山に木霊す滝の音  
小高さや木の下閣は神の国  
風に添い風に離れる藤の花  
若葉雨いつもの茶房指定席  
廃業の湯屋の煙突街薄暮  
遠巻に滝行者見詰めいる

町会活動の概要

平成19年12月から  
平成20年3月まで

平成19年6月から平成19年11月までの  
町会活動の概要は蓬萊だより72号に掲載

平成19年	12/2 駒本小学校 P T A A 会議 3 「交通部」3日～7日 かね前交差点交通街頭指導 AM7:30～8:30 3 文京区青少年関連団体交流会 シビックセンター 7 「防犯部」駒込防犯協会全体会議 9 定例役員会・慰労親睦会 13 「婦人部」歳末助け合い募金 駒本小学校スクールガイド 20 「婦人部」資源回収 23 蓬萊町だより編集委員会 23 歳末夜警 23日～29日 30 根津神社総会
平成20年	1/5 「防犯部」駒込警察署武道始め式 9 「交通部」駒込交通安全協会 11 文町連新年会 11 根津神社鏡開祭 12 「婦人部」日本赤十字・講習会 13 蓬萊町だより編集委員会 24 区政意見交換会

24	本郷消防協会協力団体新年会
26	「婦人部」定例部会・新年会
27	部長会・交通部合同新年会
28	根津神社つつじ祭委員会
28	向丘地区町会長会新年会
2	1 「婦人部」日本赤十字・宿泊研修会 4 青少年対策向丘地区委員会 8 防火防災協会役員会
11	第3回駒本小学校 P T A A 会議
12	定例役員会
19	向丘地区1・2町会 A E D 講習会
21	「婦人部」資源回収
22	「防犯部」駒込防犯協会全体会議
3	3 「婦人部」文京つつじ祭会議 駒本小学校スクールガイド 5 定例役員会 12 「婦人部」定例部会 16 「婦人部」日本赤十字 17 「くすのきの郷」洗濯物たみ 17 向丘地区町会長会議 18 「交通部」駒込交通安全協会 理事会 19 第六中学校卒業式 25 駒本小学校卒業式 20 「婦人部」資源回収 22 「防犯部」・「婦人部」 地域安全週間 防犯キャンペーン 餅つき大会 23 文京つつじ会常任委員会

訃報

作田 亮様	75歳	向丘2-36-1
小山 信次様	103歳	向丘2-18-14
原 信正様	70歳	向丘2-18-14

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

蓬萊町会平成20年度事業計画

春・秋	交通安全旬間	交通部
" "	地域安全旬間	防犯部
4月	防災予防旬間	防災部
5月	文京つつじ祭甘酒茶屋協力	婦人部・役員及び有志
9月	定例総会開催	文化部・役員及び有志
12月	根津神社祭礼	防災防犯部・役員及び有志
3月	歳末特別警戒夜警実施	文化婦人部役員及び有志
その他	町内お汁粉会	
	定例役員会	役員全員
	部長会	町会長が招集
	各部署会	各部署
	根津神社祭礼準備	文化部・準備委員会
	区報配布(年24回)	連絡員・役員
	「蓬萊町だより」発行	編集委員会
	警察関係・消防関係活動	婦人部
	赤十字婦人奉仕団活動参加	婦人部
	清掃事業協力・資源回収	婦人部
	小学校新人児童・成人式お祝い	文化部
	募金活動 年3回	婦人部
	敬老の日・天ぶら会於海蔵寺	婦人部・蓬萊友の会

# 平成19年度収支決算報告書

自 平成19年4月1日 ～ 至 平成20年3月31日

蓬萊町会

収入の部		支出の部	
前期繰越金		総務部費	833,775
現 金	100,000	婦人部費	399,329
普通預金	2,159,228	文化部費	238,940
町会費	1,563,800	交通部費	65,950
受取利息	9,367	防災部費	63,871
区助成金等		防犯部費	40,100
区報配布	151,500	青年部費	60,000
リサイクル	186,780	盆踊り補助	300,000
区補助金等	166,538	太鼓修理	140,000
活動助成金	24,780	次期繰越金	
		現 金	100,000
		普通預金	2,120,028
合 計	4,361,993	合 計	4,361,993

三井住友銀行定期預金 No.703987 3,629,000 円  
 上記の通り、平成19年度決算報告を致します。  
 平成20年5月13日 町会長 本城 康至 (印)  
 会 計 竹中 俊之 (印)  
 " 池田 秀男 (印)  
 監査の結果、上記決算書は正確に処理されていることを認めます。  
 平成20年5月13日 会計監査 関根 昌一 (印)

# 平成20年度収支会計予算

自 平成20年4月1日 ～ 至 平成21年3月31日

蓬萊町会

収入の部		支出の部	
前期繰越金	2,220,028	総務部費	800,000
町会費	1,500,000	文化部費	500,000
区助成金等	500,000	交通部費	120,000
		防災部費	120,000
		防犯部費	120,000
		婦人部費	400,000
		青年部費	60,000
		友の会補助金	50,000
		予備費	2,050,028
合 計	4,220,028	合 計	4,220,028

上記の通り、平成20年度予算をご提案致します。  
 平成20年5月13日 町会長 本城 康至 (印)  
 会 計 竹中 俊之 (印)  
 " 池田 秀男 (印)

## 役員人事

平成二十年(敬称略)

副会長 本城 康至  
 会計長 青木 喜一  
 会計副長 竹中 俊之  
 会計監査 関根 昌一  
 顧問 三宅 英三  
 池田 秀男  
 大畑 清心

総務部 (部長)  
 坂本 禎一 (副部長)  
 猪熊 良一

文化部 大畑 清心 原通夫・猪熊 良一  
 (蓬萊町だより 編集委員長)

交通部 青木 喜一 大熊 敏幸・原通夫  
 (交通安全協会 集金担当)

防災部 中島 行雄 小林 一雄  
 防犯部 瀧口 逸策 小山 隆

婦人部 藤岡 芳江 井川 錦子・猪熊 和江・池田 朝子  
 青年部 三宅 秀明 加藤 美次

連絡委員 池田 秀男  
 総括 堀江 頼治  
 南部 五十嵐 喜恵子  
 中部 高野 和男  
 北部 中島 行雄

向丘地区町会連合会役員 池田 秀男  
 文京区青少年対策向丘地区委員 中島 行雄

## 編集後記

暑中お見舞い申し上げます。  
 駒本小学校PTA副会長長水木優香様に、餅つき大会について寄稿していただきました。こうした催しを通して、地元小学校と町会の交流が一層活発になっていくことを期待しています。  
 9月20日、21日は根津神社のお祭りです。今年、二年に一度の御輿の町内巡幸が行われます。21日の午前、子供御輿と山車、21日の午後は大人御輿が町内を巡幸します。皆様のご参加をお待ちしております。  
 編集委員 本城 康至・坂本 禎一・原通夫・和田 わか・猪熊 良一